



い～ねだより

2024年7月2日

認定NPO法人じゃんけんぽん

企業主導型保育 い～ね保育園

基本理念

『たくましく生きる力』

保育目標

『自ら感じ考え自分と周りの人を大切に作る心を育てます』

『基本的な生活習慣を身につけ、心身ともに調和のとれた幼児を育てます』

『地域の人とのかかわりやふれあいを大切に、かけがえのないつながりを創っていきます』

『一人ひとりの子どもを十分に愛し、子どもの個性を受け止め、伸ばしていきます』

7月のテーマ

『水遊びで心と体を涼しく！』

「ぼよぼよ、ぷにぷにで遊ぼ」

段々と暑くなってきましたね！子どもたちも、最近はお外でのお水遊びが楽しそうです。お水以外にもこの時期はいろいろな感触遊びが楽しめます。絵の具や氷、そして…？

ある日のことです。「皆、みててね～」とタライに中身を出すと黄色と赤とピンクのプルプル！食紅で色を付けた寒天でした。子どもたちも見慣れないものに「これなあに？」とびっくり♪指でつんっ！としたり、手のひらでぐにぐに、むぎゅ～！とつぶしてみるなど、「ぷになってした！」と感触を楽しんでいました。触っているうちに何だか…「おいしそう！！」思わず言葉にした子も。感触遊びを通し、様々な素材や感触を楽しむことで、発想力や想像力が育まれます。ちぎったり、こねたり、丸めるなど指先の動きや感覚を高めながら、五感を育みます。



透明のカップを渡すと、たちまち

「アイスです」「ゼリーです！」「いらっしゃいませー。」

とイメージを膨らませてデザートを作り、お店屋さんごっこが始まりました。

「全部ぼくのです」と独り占めしたい子も。

「えー！」「かして！」「だめよ」の声が行き交いましたが、一緒のタライで遊び、イメージや楽しさの共有ができたのか、次第に気持ちの変化が起きたようで、独り占めしたかったお友だちも、皆に「どうぞ」と分け合うことができました。

次第にお片付けの時間が近づきましたが、まだまだ夢中だったので、見守っているとみんなでぴったりとくっついて仲良くデザート作りを続けていました。もう「だめよ」の声は聞こえませんでした。

皆それぞれ使いたい玩具ややりたい遊びがあって、まだまだ「ぼくが！」「わたしが！」と意見がぶつかる時期です。今はまず、子ども達が自分の意見を持つこと、自分のことを大切にしていけること、保育者はそれを尊重していきることが必要だと思って日々子どもたちと過ごしています。子どもたち自身がその時期をしっかりと味わっていくことで、お友だちと関わりを通じ他人の気持ちを知っていき、お互いのことを尊重していきながら成長していく中で覚えていくのではないのでしょうか。独り占めも、いじわるではなく、その子にとって大切なものに気づいていく時間なのだと感じました。

寒天遊び、簡単に準備ができるので暑い日に試してみたいはいかがでしょうか？

